

ロータリークラブの活動を楽しもう！

宮崎南ロータリークラブ
会長 山地久守

第2014回例会 2019.8.5

会長 / 山地久守 幹事 / 大迫雅浩
副会長 / 小園隆司 会報 / 河野慎也
例会場 / 宮崎観光ホテル
ソング / 君が代 四つのテスト
ロータリーの目的

会長挨拶

山地久守会長



みなさん、こんにちは。本日は、2014回目の例会です。連日、猛暑が続いていますが、本日、夕方には、台風8号が本県に上陸する予報です。早めに準備されて台風に備えて頂きたいと思っています。

また、もう一つ大きなニュースがはいってきました。全英女子ゴルフにおいて、渋野日向子さんが、通算18アンダーで優勝しました。樋口久子さん以来42年ぶりの快挙だそうです。

私自身、ゴルフ大好をしますか？と尋ねられら、「したことはある」と答える程度ですが、そんな私でも凄いなと思っていますところ。最近のスポーツ界では、10代の若い世代が活躍しており楽しみです。

さて、今月は、会員増強月間ということになっています。クラブの活性化は、会員増強、楽し例会、親睦、その上で、地域のための奉仕活動、国際的な奉仕活動を積極的に行うためにも、まずは、会員を増やすことが大事です。繰り返しお願いしているところですが、会員増強委員長の田口会員始め、委員の皆さんに協力して頂きたいと思っています。皆さんのお近くにも、素晴らしい信頼できる方がいらしゃる

出席委員会報告

山崎栄一郎委員長

●出席状況

本日状況		前々回状況	
会員数	(44) 47名	会員数	(45) 46名
本日欠席者数	15名	ホームクラブ出席者数	30名
本日出席者数	32名	メイクアップ数	4名
出席率	72.72%	修正出席者数	34名
		修正出席率	75.56%

●前々回メイクアップされた方／寺村明之会員、長澤好太郎会員、丸山一郎会員、山崎栄一郎会員

ニコニコ BOX 1件 1,000円
累計 17,000円

募金箱 5,187円
累計 20,050円

と思いますので、是非、ご紹介頂きたいと思っています。

昨日は、都城メインホテルで、「ロータリー財団セミナー・補助金管理セミナー」がありました。当クラブのロータリー財団委員長でもあります大迫パストガバナー、地区のポリオプラス委員会副委員長の大田寛子会員もて参加されていました。お疲れさまでした。

当クラブの現状は、まだまだ小規模クラブです。地道に、地域における奉仕活動を充実させることも必要ですし、地区補助金、グローバル補助金を利用して奉仕活動をするのもすばらしいことだと思いますが、もう少しマンパワーが欲しいところです。

皆様のより一層のご協力をお願いしたいと思います。

幹事報告

大迫雅浩幹事



・前回もお伝えしました通り、8/26の例会は上田中部グループガバナー補佐（西都RC）が来られます。出来る限りの出席をお願いします。また、10/28はガバナー公式訪問前クラブ協議会、11/18がガバ

RIの目的は次の通りである。

- (1) ロータリーの目的を推進するようなプログラムや活動を追及しているRI加盟クラブとRI地区を支援すること
- (2) 全世界にわたって、ロータリーを奨励し、助長し、拡大し、管理すること
- (3) RIの活動を調整し、全般的にこれを指導すること

ナー公式訪問例会になりますので、今のうちからスケジュールをお願いします。

- ・ 8月から来年6月までの地区交換留学生の受け入れがあり、フィンランドからの男子高校生アーポ・ジョナサン・NYHOLMくんは当宮崎南RCがホストクラブになっております。入国後初のオリエンテーションが鹿児島空港ホテルで8月24～25日にありますが、安川会員と大浦会員に行ってもらいます。クラブをあげて面倒をみていきましょう！
- ・ えびのRCより、昨年4月20日に行われた創立50周年記念パーティーの御礼と記念誌が2冊届いておりますので事務局に預けておきます。
- ・ ガバナー月信8月号の訂正について（16～17ページ、別紙の通り）。また先ほど田口会員より指摘をいただき、18ページの入会者の欄で当クラブの大浦さんが木浦さんになっておりましたので連絡しておきます。
- ・ 地区RYLA委員長よりの通達で、RYLA学友会（ライラリアン）を発足したとの事です。目的はRYLA卒業生とRCはその後は関係性が薄れていく現状があるため発足し、今後のRYLA研修時にも参加してもらいたいし、RCファミリーとして交流していきたい。川原ガバナー時代のRYLA先には是非連絡を取ってほしいとの事。
- ・ RLIリーダー研究会パートIIの案内が来ております。会長三役、役員、理事の方は是非参加してください。日時は9月22日日曜日9:20～15:00 宮崎日本大学高等学校です。前回は5名参加で私も参加しましたがかなり勉強になりました。
- ・ 風呂井ガバナーエレクト事務所から次年度地区役員推薦の依頼が届いております。期限は8月末までです。

ニコニコBOX



大迫雅浩会員

「村上三絃道」伝統・未来音楽祭が8月24日～25日で行われます。私が総合プロデューサーで、大迫三郎パストガバナーが実行委員長です。チケット等ございますのでよろしくお願い致します。

ロータリー情報委員会

戸高勝利委員長



ロータリー情報委員会より勉強会のお知らせとお願いです。8月19日より例会の後に30分勉強会を行います。年度始懇親会で参加者を募りましたが、受けたい方は、当日「クラブ活動計画書」を持参し参加してください。

地区委員会出席報告

大迫三郎PG



諮問委員会、地区運営委員会、地区ロータリー財団セミナー（都城メインホテル）

- ・ 8月3日諮問・運営会議にて台湾との地区姉妹の方向が決まりました。
- ・ 地区のビジョンの作成を戦略委員長として作成することになりました。
- ・ 8月号「ロータリーの友」に「言葉の使い方」について、講演記録があり、世界の歴史上の有名人物の「名言」が載っています。
- ・ 8月4日財団セミナーでは財団の特にポリオ（小児麻痺）の完全根絶についての会員の認識と財源寄附に改めて協力要請がありました。（一人年3150円）

ロータリーフラッシュ

●誕生月

川野一義会員
開地俊昭会員
安川 潔会員
高山周栄会員



●米山奨学金授与式

チョテカジョン・アワッサヤ様



本日のプログラム

会員卓話

鈴木 健会員



連夜の全英女子ゴルフの応援で睡眠不足の方もいらっしゃると思いますが、令和に入って日本人のメジャー勝利と渋野さんの笑顔にほっとしている宮崎銀行の

鈴木でございます。

今年の4月に宮崎南ロータリーに入会させていただいたばかりの新入会員の分際で、年度替わり初の卓話など恐れ多いことではありますが、いま何かと話題の「キャッシュレスについて」というお題とともにご指名いただきましたので、ご意向に沿うようにお話をさせていただきたいと思います。

「キャッシュレス」につきましては、私も勉強中のところもありまして、説明がわかりづらい点もあるかと思いますが、ご清聴いただければ幸いに存じます。

それでは、配布資料に沿いまして「キャッシュレスの動向と今後の取り組みについて」お話をさせていただきます。

「1. キャッシュレスの現状」をご覧ください。世界の主要国のキャッシュレス決済比率の現状を見てもみまると、韓国やイギリス・中国などではキャッシュレス決済が進んでいる一方で、日本やドイツといった先進国では2割にも達していない現状が窺えます。

キャッシュレス決済比率につきましては、国によってバラツキがありますが導入が進んでいる国の共通した特徴として、「2. 各国のキャッシュレス事情」の通り、国レベルで脱税対策や偽造紙幣対策、コスト削減等に取り組んだ結果として導入が進んだ事例が多く、ITを利用してキャッシュレスを強力に進展させている国も多くあります。

実際に私も昨年、上海に行ってきて驚いたことがありました。現地の方とお昼を取ろうと、大型ショッピングセンター内にある人気中華料理店に行くことになり、同伴された現地の方が料理店に向かう車中でスマホを使い、入店予定時間や料理などの予約を行っていました。通常であれば、お店に入ると店員が出てきて名前を告げ席に通された後、メニューを見て料理をオーダーして食事を楽しむ流れですが、このお店は、席に着くとともに待ち時間もなく、飲み物と同時に出来立ての美味しい中華料理が運ばれてきて、食べ終わった後の支払いはカードやスマホなどを提示することもなく、お店を出る際に支払専用ゲートを潜って通るだけで支払いが完了するという非常に簡単なものでした。連れて行ってく

ださった方の説明によりますと、来店と同時に料理が出てきたのは予約者スマホのGPS機能を活用して、ショッピングセンターに着いた時点でお店に通知が行くようになっており、そこから料理を作り始めるため、スマホ予約のお客様は、滅多に待たされたことはないとのことでした。

また、支払いの仕組みは予約時点で料理の代金を、アプリのスマホ決済業者がスマホ上にあるお金で一旦預かり、食事が終わり支払ゲートを通った時点でお店側に代金が支払われる仕組みとなっており、お客側からすると、料理が早く出てきて支払いも簡単に終わる。お店側は「GPS機能を使うため来店確認が取れる」「事前予約のためオーダーをとる必要がない」「代金回収漏れや間違いが少ない」「現金取り扱いが少なく済む」など現金管理面や雇用面でコストを抑えることが出来ており、中国のIT化進展とともにキャッシュレスも進んでいることを実感させられました。

さて、比較的キャッシュレスが進んでいない日本ですが、その理由としては4ページの資料にある通り、治安が良い、偽造紙幣が少ない、金融機関やATMが充実していることに加えて、実店舗側として導入コストや手数料の負担、売り上げの資金化になるまでにタイムラグがあるなどの理由により、取扱店舗が少ないことやキャッシュレス支払いに対してセキュリティ面などで不安があるためと言われております。

ところでキャッシュレスと一言で言われておりますが、どのような種類があるかお分かりになりますか？

「4. キャッシュレスの種類」の通り大きく4つに分けられています。種類やサービス・決済・支払方法は資料に記載の通りで、JCBやVISAに代表されるクレジットカード、nanacoやニモカに代表される流通系・交通系のプリペイドカードの電子マネー、キャッシュカードなどを利用するデビットカード、そしてスマートフォンを利用して決済を行う〇〇payといわれるQRコード決済があります。そして、これらの仕組みを利用して、現金を使わずに決済を行うことキャッシュレス決済といい、これから日本では国民一体となってキャッシュレスを推進していくた

め、更に浸透してくると言われております。

では、あらためて国を挙げてキャッシュレスを進めている理由の主なものですが、「5. キャッシュレス推進の必要性」「6. キャッシュレスに向けた動き」をご覧ください。記載の通り、現金取り扱いに関わるコストや業務自体の削減に伴う生産性の向上、訪日外国人への対応、消費データの活用などによる経済の再活性化を図り、結果国力を向上させることを目的としており、具体的な取り組みとしては、国際的なイベントが開催されることを弾みとして2025年にはキャッシュレス決済比率を40%まで高めることを目標に、2019年度は2,798億円の予算をかけてキャッシュレス化を推進しているところであります。ちなみに2016年における硬貨製造にかかわるコストは約170億円、紙幣は約520億円といわれており、現金取扱いにかかわるコストとして、その他諸々の費用も合わせると国家予算の1%である1兆円にも達すると言われております。

では、国が約2800億をかけて進めていくキャッシュレス・消費者還元事業の概要について改めて整理してみましょう。「7.キャッシュレス・消費者還元事業について(案)」に記載の通り実施期間は今年の10月より来年6月までの9か月間となっており、利用消費者、中小・小規模事業者向けに支援が行われる予定となっております。

条件といたしましては、対象は消費者および還元事業に参加する中小・小規模事業者で大企業は対象外となっております。但し、キャッシュレス決済の消費者利用が進むことから大企業でも、消費税増税のレジ対応と合わせての導入が進んでいくと言われております。

支援内容については、消費者向けと事業者向けに3つの支援が予定されており、1つ目は消費者向けで、期間中にキャッシュレス決済を導入している中小・小規模事業者でキャッシュレス決済を行うごとに2%~5%のポイントを政府が負担して消費者に還元するものです。還元金として約1800億円を見込む事業ですが、店頭支払がキャッシュレスか現金かで5%も負担が違えば、消費増税分を補って余りあるものであるため、導入が進むものと思われます。2つ目は、事業者向け支援でキャッシュレス決済を導

入するにあたり必要となる端末費用の3分の2を政府が、残りの3分の1を決済業者が負担するため、中小・小規模事業者の実質負担はゼロとなるものです。3つ目も事業者向けのもので、決済事業者に支払う加盟店手数料の3分の1を補助するものになっており、ほとんどの業種を対象に、クレジットカード、電子マネーやスマホ決済も対象となっております。最後になりますが、私が所属しております宮崎銀行の取り組みを簡単にご紹介いたしますと、先ほどご紹介しました通り支援事業やインバウンド対応により今後、日本そして宮崎においてもキャッシュレス決済が進んでくるため、キャッシュレスについては子会社が行っているクレジットカード事業に加えて、スマホ決済サービスについても取り組みを始めており、専門部署を設置し取り組んでおりますので、詳しくお聞きになりたい方につきましては、当行IT戦略室にご相談いただければと存じます。